

進路だより



富岡特別支援学校
移行支援部 No.6
令和7年12月9日(火)

小学部のキャリア教育について

小学部では、児童一人一人の発達段階に応じて、学校生活全般を通してキャリア教育に取り組んでいます。キャリア教育の目標は、「様々な学習活動を通して、基本的生活習慣や最後までやり遂げる力、自分で物事に取り組もうとする意欲を育み、児童同士の関わりの中で人間関係を広げていく。」としています。この目標に向かって、小学部で取り組んでいる学習の一部を紹介します。

○自分なりの方法で、自分の思いを周りに伝えようとする

毎日の生活や授業の中で、コミュニケーション能力を育てるために、児童の実態に合わせ、言葉だけでなく、身振りや簡単なハンドサインなどを使って思いを伝える場面を設定しています。写真は、ハロウィンイベントで教頭先生に「お菓子をください。」とお願いしている場面です。



○自己と他者を区別できる

毎日行う朝の会では、一人一人名前を呼ばれ返事をする場面を設定しています。自分の名前を呼ばれたり、友達の名前を聴いたりすることで、自分や友達のことを意識できるようになります。毎日の生活や学習の中で、友達と関わる場面を意図的に設定しています。

○困っていることを態度で示す

カーテンの中で着替えを行っている途中で、何か困ってしまった時にベルを鳴らして教師に知らせる学習に取り組んでいる児童がいます。困っていることを知らせると、周りの人たちに助けてもらえるという経験を積み重ねることを大切にしています。



○自分の仕事をやり通そうとする

毎日、廊下の雑巾がけに取り組んでいる児童がいます。児童の好きなキャラクターを使って、見通しをもちながら楽しく取り組めるよう教材を工夫しています。途中で疲れてしまっても、汽車のイラストを貼るのを励みに、目標の三往復をするようになりました。

11月27日と28日、高等部作業学習のビルメンテナンス班が、小中学部校舎を清掃しました。

汚れやすい窓の外側と内側、小学部生が遊ぶプレイルームや自立活動室、廊下や階段など、普段手が行き届きづらい場所を、高等部生が清掃しました。小学部生や教師と会うと、お互いに挨拶を交わしました。中学部生が校内実習で頑張っている姿を、高等部生が廊下の窓から見る姿もありました。



高等部生の声 「小中学部の皆さん気が持ちはよく過ごせるように、水は冷たいけれど頑張って掃除しました。」

小中学部教師の声 「プレイルームは小学部生が大好きな場所なので、大きな遊具を移動させて掃除をしてくれて、ありがとうございます。」「きれいになって気持ちよいです。」